

三条北ロータリークラブ週報

例会日 2011. 8. 30 累計 No.1188 当年 No.8



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

例会日:火曜日 12:30 ~ 13:30

例会場:三条ロイヤルホテル TEL 34-8111 FAX 34-8114

事務局:三条市本町 3-5-25 三条ロイヤルホテル内

TEL 0256-35-7160 FAX 0256-35-7488

HP:<http://www.sanjo-nrc.org> AD:north@sanjo-nrc.org

発行:三条北ロータリークラブ 会報委員会

国際ロータリー会長:カルヤン・パネルジー
(インド・グジャラート)
地区ガバナー:石本隆太郎 (新潟RC)

三条北RC 会長:星野 義男
三条北RC 幹事:石川 一昭
三条北RC SAA:丸山 勝

■出席状況

- ・本日の出席:67名中45名
- ・先々週の出席率:67名中50名
74. 63% (前年同期74. 29%)

■本日の行事:卓話

■先週のメイクアップ:(敬称略)

- 8月25日三条東RCへ 高橋彰雄
山本 賢、丸山達夫
青柳康博
- 27日国際奉仕フォーラム
大野新吉
- 27日野球部練習 岡田大介
石黒隆夫、佐藤秀一
武田恒夫、吉田文彦
小林繁男、高橋研一
西村 護、金子太一郎
石川一昭、中條耕二
駒形 実
- 28日地区諮問委員会 (新潟)
中條耕二
- 28日市内4RC
合同社会奉仕事業
中條耕二、星野義男
石川一昭、金子太一郎
石川勝行、小林繁男
早川龍雄、佐藤義英
- 29日三条南RC 山上茂夫



会長挨拶:星野義男会長



皆さん、こんにちは

先日の日曜日28日2時から4クラブ合同で開催されました社会奉仕事業『がんばろう日本 復興応援チャリティー寄席とフルーツコンサート』を大盛況で終了する事が出来ました。これも皆様のご協力のおかげとともに、天候にも恵まれたことと感謝いたしております。又この成功の

影には、提案発起、企画から当日の綿密なスケジュール等を各クラブの会長、幹事、社会奉仕委員長及び事務局の皆さんの熱心な打合せによるものと思っております。こうして、各役割をロータリーの友情をもって滞りなく進行され、和気あいの内に打上げが出来ましたことをご報告致します。次年度もこうした計画で4クラブと一緒に活動出来たら、お互いのクラブの絆を一層深める事が出来ると思えました。

尚、この社会奉仕事業に対して、資金は例会時のニコニコボックス募金から活動計画を立て予算を付けております。皆様のご協力で成り立っております。更に、申請しておりましたR財団の地区補助金も承認され予算に加える事もできました。会場にチャリティーの募金箱も4個用意しました。集計はまだ聞いておりませんが、予想を上回る募金を戴いた様に思います。本来の目的したメンタル面・資金面からの被災者支援としての一環が担えたことと思っております。

当北クラブは皆様のご協力によりロータリー財団に例年多額の寄付をしており、2560地区においては常に上位に位置しております。且つ、ロータリー財団委員会に中條パストガバナーが委員長として活躍しておられます。11-12年度の第1期地区補助金は先にお話しした通り4クラブ合同事業に対してと三条北RC 他合計6事業に対し支給される事との連絡を頂いております。中條財団委員長からもご助言頂いていることと解釈し感謝致しております。こうした皆様のご尽力により事業の成功へ導かれる事になるわけです。

ニコニコボックスはじめ各種ボックス・ロータリー財団及び米山奨学へのご寄付のご協力を切にお願いして本日の挨拶と致します。ありがとうございました。



前年度R財団寄付額:地区1位

幹事報告：石川一昭幹事

- ・石本ガバナー事務所より ローターレートの変更
9/1より 1\$ = 78円 (現行80円)
- ・地区R財団委員会より 地区補助金支給決定について
社会奉仕事業「石川勝美講演会」に対して補助金が受けられることになりました。
R財団寄付額について
前年度(東山年度)寄付総額は地区第1位でした。
- ・米山記念館より 賛助会ご入会、100円募金協力をお願い
- ・新潟県共同募金会三条市支会委員会開催について
日時 平成23年9月1日(木) 10:00～
会場 三条東公民館 多目的ホール
- ・三条ローターアクトクラブ会長より 第1回中越分区合同例会のご案内
日時 平成23年9月3日(土) 19:30～
会場 三条リサーチコア
- ・三条クリーン協議会より 臨時総会開催のご案内
日時 平成23年9月6日(火) 正午～13:30
会場 三条商工会議所 1階
- ・田上あじさいRCより 事務局担当変更のご連絡
8月より田上商工会職員長谷川に変更となりました。
- ・東山直前ガバナーより
ガバナーの退任挨拶およびガバナー月信13号(最終号)送付について
- ・水害被災の各会員よりクラブからの見舞いに対するお礼が届いています。



委員会報告：

プログラム：「早朝例会」案内 出欠表に記入ください。

9月13日(火) 5:30～ 本成寺

前年度R財団梨木委員長：地区で1位の表彰をいただきましたが、皆様のご協力と私の少しの努力のおかげと思います。
ありがとうございました。

■ロータリー財団BOX：30日現在累計97,000円

神田 敬宏君 父の葬儀にはクラブからお気遣いいただきありがとうございます。

浅間 一洋君 ご協力ありがとうございます。

■米山奨学BOX：30日現在累計89,000円

神田 敬宏君 父の葬儀にはクラブからお気遣いいただきありがとうございます。

岡田 健君 ニコニコBOXのお願いに行ったら米山のBOXがありヤブヘビでした。

加藤 實君 米山さんに協力です。

浅間 一洋君 ノーコメント

青木 省一君 BOX協力!!

米山 忠俊君 浜岡さん本日の卓話ご苦労様です。皆様にはいつもご協力いただきありがとうございます。

■ニコニコBOX：30日現在累計181,000円

加藤 實君 代表社長を退任し、代表会長になりました。よろしくお願いたします。

神田 敬宏君 父の葬儀にはクラブはじめ会員の方々からご参列いただきありがとうございます。



阿部 勝子君 渕岡さん今日の卓話期待しております。

石川 一昭君 渕岡さん卓話楽しみです。又石川勝美氏講演会まであと84日です。ぜひニコニコBOXに協力願います。金子委員長を男にしてください。

中條 耕二君 渕岡元会長さんの卓話に感謝して。

渕岡 茂君 3月1日以来、久しぶりの卓話です。人生58年間をどこまで振り返れますか。宜しく。

渋谷 義徳君 渕岡プログラム副委員長の卓話に感謝して。

金子太一郎君 渕岡さんの卓話、楽しみにしています。それと11月8日の石川勝美氏の講演に向けて！

下村 啓治君 フチオカ社長の卓話に感謝して。

今井 克義君 梨本先輩の2本足での歩行と加藤先輩の久しぶりの元気なお姿に。

早川 瀧雄君 渕岡さんの卓話、楽しみです。

岡田 大介君 渕岡キャプテンの卓話を楽しみにしています。

星野 義男君 渕岡さん卓話よろしく願いいたします。

羽賀 一真君 先日の大平森林公園でのバーベキュー例会、子供たちも喜んでいました。またこのような機会を作ってほしいです。

石黒 隆夫君 先日のバーベキュー大会の参加ありがとうございました。食材が残る事を心配しましたが追加となりました。高校の柔道部のようでした。

石川 勝行君 朝晩ちょっと涼しくなって、よく寝れる日になってうれしいです。渕岡さん卓話楽しみです。

山上 茂夫君 嬉しい事がないと言ったら嬉しい事を作ってくれと岡田さんから言われました。そこで元会長卓話の予定がどんどん伸びて11月22日との事。嬉しいなあ！

木宮 隆君 BOXに協力して。

駒形 実君 //

山崎 勲君 //

樋口 金占君 //

小林 繁男君 //

斎藤 正君 //

丸山 達夫君 ノーコメント

浅間 一洋君 //

岡田 健君 8月最後の例会です。残暑厳しい中ですが健康に留意しがんばってください。

* 7月のコメント賞は今井克義 会員です。



本日の行事：卓話 プログラム委員会 渕岡 茂副委員長



久しぶりの卓話です。最近入会された方も多くいらっしゃいますので自己紹介と最近思うことを話します。

参考資料として、研磨材料の種類と、加工素材の研磨には何が適するかという目安表が《ダイヤ工具の参考書》に出ていましたので皆様に配布します。もし関連性があればどんな事でもお問合せください。ロータリーの精神で職業奉仕をいたします。

3月11日の東日本大震災を東京にて遭遇しました。東北地区に多くの被災されたお客様もようやく生産活動に入り、「いつまでも悲しんでられない。生活の糧を求めて仕事に入ろう」と。そのお手伝いを弊社も中小企業、資本の限られた中ですが一生懸命取組んでおります。党首選挙で騒いでいる政治家も“有言実行”でがんばって欲しいものです。

私が三条北に入会したのが仮発会式でした。昭和61年(1986年)12月2日、33歳の時でした。中條パストガバナーにお誘いを受けて入会説明会に出向きました。

今の三信中央支店(元三条信用金庫本店)の2階会議室に入りましたが、説明を受けたのは私ともう一人か二人で大勢ではなかった記憶があります。何をされるのだろうと不安もありましたが、“お昼を食べて情報交換をしましょう”程度でした。

私は25歳頃から45歳までの20年間は出張族で月の内、20日は東北・北海道の出張業務に費やしておりました。率先垂範で、営業職として社内の先輩諸氏、後輩に意欲を知ってほしくがむしゃらに出張をしていました。青年会議所の誘いも無く、現場主義でただひたすらお客様の要望に応えるだけでした。余り三条の人たちとお付き合いも無く、これはよい機会かなと思いつつ入会した次第です。

一部の方から“親睦は50歳を過ぎてから”とアドバイスも頂きましたが、地域産業で大活躍の方々の経験談、例会場での日常に於ける世間話、地域内・外での親睦会等に参加し、多くの方々との交流が自己投資に結びついたものと確信しております。

当社は祖父が柏崎よりのれん分けし三条旭町に居を構え、雑貨商から弊社の基礎となる五十嵐川上流の砥石山の権利を得、三条市内金物卸販売して今年で創業93年、島田兄弟商会と涸岡商店が合併し会社になって58年目を迎えております。

平成2年11月に見附市に移転、涸岡砥石から(株)フチオカに社名変更しまして、現在に至っております。紆余曲折がありますが、現在は新潟・秋田・札幌に支店営業所を設け、中国アモイに情報を得る為の中国人スタッフが一人います。私も年一回は中国に出向き、お客様に提供できる商品探しを共にお願いしています。総じて厳しい経済情勢の中で研磨材料の提供を高めております。

私は石材加工向けの研磨材料提供が営業のスタートでありました。北海道に5年。秋田で4年。その後は新潟、山形、福島と出張組みでありました。

石材、建築石材（御影石、大理石、セラミック）等を加工する業界に研磨材料、特に切断用ダイヤモンドソー、金型部品、ガラス、レンズ仕上げ用のダイヤモンド研磨工具、彫刻用の研磨材料、自動車部品（クランクシャフト、ピストンリング、スピードメーター）、刃物刃付け用、作業工具・洋食器バリ取り用バレル研磨材料それらを使用する為の機械設備の販売がメインでありました。日本の経済成長の華やかな頃の大変売れた時代を経験いたしました。

一転して、現在は国内空洞化の最たる分野になっております。福島原発の事故でより一層の電力不足と、今後の地震発生の懸念による各地区原発の停止。生産拠点がより一層海外シフトに至っています。

産業多くある中で、**石材業界を例に出しますと**、中国には日本向け石材加工品加工工場が2000軒から3000軒あります。中国福建省泉州、福州地区には片側2車線中央分離帯は無くいつでも飛行機が離発着出来るくらいの道路わきに所狭しと、日本向け石材工場が乱立しています。現在はヨーロッパ、アメリカ向けが90%になりました。日本向けは10%に満たない様子です。

「石材産業協会資料より」

このような国内空洞化はより一層の日本の物作り文化の衰退に繋がるものと不安視するひとりです。今、中国は世界の工場の時代は終わり、消費大国に大变身しました。

そして現在、中国からインド、ベトナム、タイ、マレーシアへ生産拠点が早いスピードでシフトしているようです。

そのような中でも国産石材を十二分に取り扱い100%自家生産で石材製品を世に送り出しているお客様も全国に多くいらっしゃいます。

日本ダイヤモンド工具工業会1000億円市場、研削砥石工業会500億円市場ですが、リーマンショック後は8掛けで推移しています。「通産省資料より」

後継者不足で全国砥石販売同業組合も10年前と比較しますと登録企業は半減しおよそ200社という状況です。

弊社も過去、集団による社員の退社、ユーザーの倒産による多大の債権引取りと転売、バブル崩壊による生産設備の激減、リーマンショックによる大幅な収益ダウン、そして今後も続く空洞化減少に耐え抜く為の企業努力が問われるところでもあります。

過去の苦い経験をもとに再構築に専念してまいります。経営者一人では何も出来ない。経営方針のもと、協力者である社員全員の力の結集が企業の永続性を高めるものと考えています。お客様に評価いただけるよう努めてまいります。

わが社は物づくり応援企業としてこれからも地場産業、物づくり産業のお手伝いする立場で新潟・秋田・札幌と3拠点を有効に活かし、地域密着体制を強化してまいります。

後継者育成にも努力しています。社内経営幹部の養成と自身の経営努力と健康管理、後継者の現在の修行先での努力がいずれ実ればと考えています。私自身は野球にウォーキングに適度の懇親会での情報交換に精を出して健康を維持しています。

取り留めのない話となりました。終わります。

9月のお祝い!

誕生日			結婚記念日		
会 員		ご夫人			
樋口 金占	1	石丸 咲子	1	浜岡 茂・文	1 1
石川 一昭	1 0	樋口 トシ	3	神田 敬宏・トモ子	1 5
		駒形 隆子	8	浅間 一洋・陽子	2 3
		岡田美代子	1 3		
		米山 定夫	2 4		

三条市内4RC合同社会奉仕事業

「がんばろう日本! 復興応援チャリティー寄せとフルーツコンサート」

2011年8月28日(日) 14:00~16:00 三条中央公民館 大ホール

一般来場者: 約500名

- ◆アンサンブルゼフィール (フルーツカルテット)
- ◆三遊亭金時一門 (落語・腹話術・曲芸)



報告

受付に4つの募金箱を用意しました。
来場の皆様からいただいた、善意は約18万円余でした。

「原発問題」について、ちょっと書いてみようと思います。

「放射能について」という表題で、他クラブの卓話の予定になっていました。うちも小さな子どもがいるので、我々大人はいいけど、特に子どもの内部被曝は怖いです。(しかし必要以上に過剰に怖がっているのは、週刊誌などの煽り記事の思うツボなので、冷静に「正しく怖がる」ことを心がけていきたいとは思っています)

節電、節電と言われており、私も震災発生後から最近までは、この未曾有の国難に立ち向かうため節電協力はしてきました。が、最近になって、私も、橋下知事じゃないけど、節電に協力すること自体に疑問を持ち始めてきました。

「節電の強制」も、原発利権に群がる政官産学癒着の原発推進派の陰謀ではないか？すなわち、火力発電などの、いわゆる「隠し電力」があるはずなのに、「原発がないと、ほら、これだけみんな困るでしょ？」などと演出したいがために、電力供給上限をわざと低く設定しているのではないか？という疑惑があります。(あくまでも「疑惑」なので、真相はわかりませんが)

使用済み核燃料の処理問題、経年寿命に達した原子炉の廃炉にかかるコスト。そして今回のようにひとたび事故が発生すると、とてつもない被害が発生する。つまり、原発は「少ないランニングコスト → 一番安い電気料金」などではなく、「これらの問題の先延ばし → 一番電力会社が儲かる発電方法」という構図だったのです。

かといって、イタリアやドイツやスイスのように、いきなり「国内の原発全廃(ドイツはフランスの原発電力を輸入しての上ですが)」というのも残念ながら、今の日本の事情からして、非現実的です。

しかし、このままの体質の「日本の原発」に依存していくわけにはいきません。(菅首相の脱原発依存発言は将来展望もない無責任発言ですが)

電力そして広い意味でのエネルギー問題は、我々日本人はこれから直面する大きな問題です。

羽賀 一真

注) 8月10日にお寄せいただいた原稿です。